

11月 3 収穫体験で
青壮年部活動をPR

青壮年部御殿場地区本部は、原里支店裏のほ場でジャガイモとサツマイモの収穫体験を行いました。同部による収穫体験は初の試みです。

御殿場地区の親子3組、11人が参加し、シャベルを手に大きく実ったイモを収穫していききました。福本准平くんは、「ジャガイモやサツマイモの収穫は久しぶり。とても楽しい」と笑顔を見せていました。

今回の収穫体験ではジャガイモ28kg、サツマイモ97kgを収穫。同部の荒井隆本部長は「収穫体験を通じて、若い世代に農業に興味を持ってもらえたり、青壮年部活動を知ってもらえたりするきっかけになればうれしい。今後も地域住民を対象としたイベントを行っていききたい」と話しました。



サツマイモの収穫を楽しむ親子

11月 8 カントリーエレベーターで
伊豆の国地区の米を受け入れ



ライスセンターに運び込まれた伊豆の国地区の米

御殿場地区営農課は、仁杉のライスセンターで伊豆の国地区の「あいちのかおり」と「にこまる」の2品種のうるち米を受け入れました。

伊豆の国地区の米の受け入れは、当JAが合併した令和4年度から行っており、御殿場地区の担当者は「御殿場地区と伊豆の国地区は栽培品種や気候が違うので収穫時期がずれる。そのため施設を長期間にわたって稼働することが可能となり、有効活用につながっている」とメリットを話します。

米は月曜から土曜までほぼ毎日、大型トラックが2往復して運び込まれ、本年度は214件、2品種合わせて約296トンの米を受け入れました。

御殿場地区
トピックス

11月 21 ゲームを通して
投資について学ぶ

金融部と御殿場地区金融課、足柄支店は小山町立足柄小学校を訪れ、小学6年生の児童を対象にゲームを通して投資についての授業を行いました。

児童らは、自分が応援したいゲームや飲食業界などの会社の株券を1,000円分購入。各社の社長に扮したJA職員や先生が「海外での売り上げがアップ。プラス20円」「製品でトラブル発生。マイナス10円」などと書かれたサイコロを振り、児童たちは株価がどのような場合に変動するのかを学びました。

児童は「投資は難しいと思っていたけれど、楽しそう」と笑顔を見せ、職員は「お金について考える第一歩になれたらうれしい。これからも子どもたちを対象とした金融教育を行っていききたい」と話しました。



ゲームを通して金融教育を行うJA職員ら

10月 26 生徒が仮装して参加
JA英語教室ハロウィン
パーティー行う



大道芸人によるパフォーマンス

JAふじ伊豆御殿場英語教室では、小学生の生徒に英語圏の文化に触れてもらおうと毎年ハロウィンパーティーを開催しています。

会場となったJA生活センターには、小学3年生から6年生までの生徒約300人がおのの好きな仮装をして集まり、ビンゴ、輪投げ、くじ引きなどのゲームのほか、大道芸人によるパフォーマンスを楽しみました。

昭和50年に開講した同英語教室は現在、御殿場地区の小学3年生から中学3年生、一部高校生の約640人の生徒が在籍しています。英検にも力を入れており、4・5級受験者向けの補習や二次面接試験対策も実施しています。

令和7年度新入講のお申し込みについては裏面をご覧ください。

10月 16 北駿畜産共進会に
乳牛22頭が出場



名誉賞の賞状を手にする長田さん

第66回北駿畜産共進会が行われました。

同共進会は、北駿地区の畜産農家の改良技術や飼養管理技術を競い、さらなる技術向上を図るために行われています。最高賞である名誉賞には、板妻の長田博行さんの「T1アストロアロング サイド」が選ばれました。

11月 8 組合員ゴルフ大会に
167人が参加



ぐみざわ支店の杉山佳則支店長(右)から優勝カップを受け取る野木さん

御殿場地区本部は、第51回組合員親睦ゴルフ大会を大御神の東富士カントリークラブで行いました。

優勝は、萩原の野木一成さんが輝きました。次回は翌年3月に開催予定です。

10月 8 ~ 9 御殿場地区
資産保全管理部会が
視察研修を行う



視察研修に参加した資産保全管理部会員

御殿場地区資産保全管理部会は視察研修を行い、千葉県千葉市の幕張メッセで行われた「国際スマート農業EXPO」や東京都江東区の日本科学未来館を訪れました。

部会員は、IT農業やソーラーシェアリングなど、農業に関する次世代の技術や知識を学びました。

10月 16 玉穂幼稚園の
枝豆収穫体験に協力



枝豆のさやを丁寧に枝から外す園児

御殿場市立玉穂幼稚園が毎年、玉穂地区農業振興協議会(山田一美会長)の協力のもと行っている枝豆収穫体験に玉穂支店も協力しました。

当日は、同協議会員の勝又吉一さんと土屋弘さんが年中と年長の園児に収穫方法を指導し、支店職員は園児の収穫を手伝いました。園児は持参したバケツいっぱい枝豆を収穫し、満面の笑みを浮かべていました。

勝又京治さん
わさび品評会で農林水産大臣賞を受賞!
2年連続3回目の受賞

「第39回全国わさび品評会」が10月22日に福岡市で行われ、御殿場山葵組合の勝又京治さん(東田中)が最高位の特賞・農林水産大臣賞を受賞しました。同賞の受賞は2年連続3回目です。

受賞を受け、勝又さんと同品評会で優秀賞・京都青果合同株式会社賞を受賞した田代恵一さん(中丸)、同山葵組合長の田代耕一さんは11月14日に御殿場市役所を訪れ、勝又正美御殿場市長に受賞を報告しました。

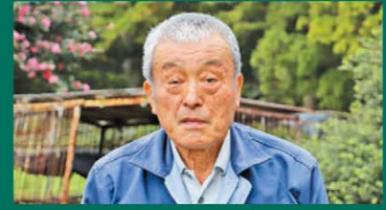
勝又さんは「今年も受賞することができ、とても驚いた。しかし、自分の理想とする真実種のワサビにはまだ届いていない。目標に向け、これからの研究を重ねていきたい」と話し、恵一さんは「夏の猛暑や厳しい残暑、大雨など、近年の異常気象によりワサビ栽培は難しくなっていると感じるが、乗り越えていきたい」と力を込めました。勝又市長は「受賞は、御殿場のワサビの品質が認められたということ。大変喜ばしい」と受賞をたたえました。



勝又 京治さん



田代 恵一さん



瀬戸 久志さん

御殿場山葵組合の他の入賞者は左記の通りです。(敬称略)

優秀賞・東京シティ青果株式会社賞 瀬戸 久志(柴怒田)

奨励賞・実行委員長 田代 修二(中丸)

勝又敬一郎(上小林)